

前からあり、このまちを見つめてき 一杯。麺は特注ゆえ、売り切れたら 「みやけうどん」の建物自体は戦 式の格好良さが見えてくる。 うか。どんぶりを重ねるごとに博多 がら、潔いまでの姿勢を学ぶのだろ 博多部の人々は、この店に通いな

とつさからは、美学すら感じられる。 すよ」のスタイルとあいまって、朴 す際に使う博多弁「つやつけとう!」 う。その流儀は、気取った人を茶化 に、近場の店で食べるものだとい ピシャリ。昼休みや買い物のついで とはしない。「うどんは、うどん」と ら、三宅さんはそれを高みに置くこ ターと、文化財クラスの佇まいなが た。使い込まれた大釜に木のカウン とまるで真逆。「うどんしかなかで

> 昭和29年創業。建物は大正末期との説も。 福岡 県西方沖地震で傾いたが、神社仏閣などの移転 を担う曳家 (ひきや) 職人の手で再建された。

みやけうどん

福岡市博多区上呉服町10-24 会092-291-3453 営業時間/11:00~18:30、土曜~17:00 休/日曜・祝日 料金/ うどん・そば320円、 トッピング50~80円、 いなり50円

見計らって、麺をさっとどんぶりへ

を描く、12センチの極太麺。 すすり 30秒。無駄なきオペレーションには、 う天を乗せて完了だ。箸を割るまで あげる。そこに、とっくりの中の熱 の人々もほれぼれと見入る。 いスメをなみなみと注ぎこみ、ごぼ ^待ちきらん!〟ことが多い博多 どんぶりの中には大らかな曲線

んの流れるような仕事ぶりを堪能 き、どんぶりを温め、いい頃合いを したい。大釜の湯気の中で麺を湯が 文を告げたら、店主・三宅雄次郎さ 「今日はごぼう天でいくか」と注

のれんを下してその日は終了。

たりだ。ああ、これこれ、いつもの 込めば、ぼわんとしたやさしい口当

ぼう天・丸天など博多らしい6種類 円」の文字。あとのお品書きは、ご ほどのシンプルさだ。 色紙に3行 「うどん そば 三百二十 くりが掛けてある。壁に目をやると んのつゆ・スメが入った大きなとっ ルほどの大釜。釜のふちには、うど らと湯をたぎらせた直径ーメート のトッピングにいなりと、清々しい カウンターの目の前には、ぐらぐ

ソウルフード/博多流オペレーション= うどんしかなかです

うどんたい たいてに

要苦しさには、 mox Statist

たんな気風は暮らしの株式に、「マート」 「様金の様子」、「マート」

方程式。

が博多式。

"夢いければ朝に従え"とも違う。 ん

^まちのき舗をめぐってみたい。

to state and the state

T ALLA BALLAND

のかたたった。

3



営業時間/ 17:00~21:00 LO 休/日曜、祝日、お盆、年末年始

昭和49年創業。もつ鍋の ルーツとなる店の1つ。「何 人前ね?」で名物のおばあ ちゃんは昨年、90歳で他 界。35年間勤めあげ、最後 まで現役だったという。

料金/もつ鍋 | 人前700円(2名で3人前~が基本)、キャベツ・豆腐・麺200円 *モツがなくなり次第で終了なので、事前予約が確実

> 客側も「みやもと」のスタイルを共 計時に渡す板ガムの種類を変えた時 げれば「こんなもんつけてから」。「会 るな」、軒先にちょうちんをぶらさ ニュー表を作れば「いらんもんつく テー に築いてきた自負があるのだ。 も怒られましたよ」と笑う宮本さん。 常連客は温かくも手厳しい。 Х

の使命感があるのだろう。そんな熱 タンダードを貫く。「もつ鍋とはどう そうだが「みやもと」はもちろんス い思いを抱きながらの、簡素な掛け いうものなのか、継承していきたい 種やトマト味まで登場して楽しめる んです」。店はもちろん、客にもそ もつ鍋も多様化してきた。変わり

合い。博多式の粋な振舞いである。

合う、このまちのもてなし方だ。 余計なやりとりは野暮として、必要 グッとくる。メニューはもつ鍋のみ。 が浮かぶかもしれないが、常連客は 最小限の掛け合いで店と客が通じ

入れずに5人前、ひたすらモツと酒 食べ進められる。キャベツや豆腐も 下処理したホルモンは、あっさりと け。それでいて、宮本さんが丁寧に 酒と相性がいい濃いめ辛めの味つ ん。だから「みやもと」のもつ鍋は、 んです」と、2代目店主の宮本洋さ 「もつ鍋はもともと、酒のアテな

を堪能する常連客もいるそうだ。 くり型のボトルがズラリと並んで 壁には、焼酎の入った大きなとっ

年通う客であってもなかなか巡っ 前や社名を書き込むチャンスは、長 えることもない。つまり、ここに名 年間とかなり長い。その上、とっく てこない狭き門なのだ。常連客のス りの数は決まっていて、これ以上増 いる。キープ期間は最終来店から2 タスともいえる。

ね?」。一見さんならハテナマーク

暖簾をくぐるやいなや「何人前



山笠のぼせ┼博多人情=

昭和33年創業で、ランチは30年ほど前から。11:00の開店から続々と客が入ってくる。フライや鯖の塩焼きなどもあり、自分好みの定食が組める。

なやり取りは、ここにはない。空いている席へ入り込む。時間が勝ぷ。腹具合と懐具合で自由に選び、はてい種類ほどのおかずが整然と並店に入ると皿、皿、皿。大小合わ

せんパイ!

好きなごと

皿に盛りスタンバイしている。 「酒房やす」はその名の通り、夜 「酒房やす」はその名の通り、夜

を補う心持ちでもいる。 を補う心持ちでもいる。

「酒房やす」は博多の男衆の気質、

酒房やす 福岡市博多区下川端町8-17 含092・291-7408 営業時間/11:00~13:00、17:00~22:30 休/士:日曜、祝日、山笠期間(7/9夜~7/16) 料金/大皿・ごはん170円、小皿120円、味噌汁100円



博多場のまつり |博|多|の|夏|は|こ|こ|か|ら|

博多祇園山笠

博多っ子だけでなく国内 外からの観光客も魅了する 「博多祗園山笠」。祭り期間 中、飾り山笠で彩られた博 多の街は、旅行者でさらに 賑わいを増す。今年はスマ ホで簡単に山笠情報を確認 できる専用サイト『すまっぽ ん!」も登場(5カ国語対応)。 詳しくは下記HPで!



◎博多祇園山笠振興会

博多祇園山笠 7月1日(金)~15日(金) http://www.hakatayamakasa.com/

HERE IS ONLY ONE

創

業

4

0

0

年

の

創業は1608 (慶長13)年。 黒田家の家臣として九州入 りした後に勘合貿易を行う 御用商人へと転向し、東南 アジアとの交易の帰路に大 量の煙草葉を仕入れ、キセ ル用のきざみ煙草に加工す ることで利益を上げていた という。

現在は国内外の紙巻タバ コ、手巻タバコ、葉巻のほ か、パイプやキセルなどの 喫煙具が充実する専門店と して、愛煙家たちから厚く 支持されている。限定品や 1 点物が見つかるのも長い 歴史を持つ老舗だからこそ。 最近注目の加熱式タバコ「ア イコス」や「プルームテック」 も取り扱いあり。

たばこプラザおくむら 福岡市博多区下川端町2-1 博多座: 西銀再開発ビル104 ☎ 092: 281: 1144 営業時間/10:30~19:00 休/日曜 http://hakataokumura.ec-net.jp/



喫煙具まで、 商品は常時1,000点以上



湿度と温度を徹底管理したウォー クインシガールーム。スタッフが 好みに合わせてアドバイスして くれるので初心者も安心



「ダビドフ アソートメント 9本セット」 (29,000円)







✿ 092・263・1100 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8F http://faam.city.fukuoka.lg.jp





☎092・263・5858 福岡市博多区下川端町2-1 http://www.hakataza.co.jp



Hotel Okura

☎ 092・262・1111 福岡市博多区下川端町3-2 http://www.fuk.hotelokura.co.jp



HAKATA RIVERAIN MALL by TAKAS HIMAYA the by TAKAS HIMAYA

☎ 092+271+5050 福岡市博多区下川端町3-1 http://www. hakata-riverainmall.jp



博多リバレイン通り 商店街

福岡市博多区下川端町 http://www.riverain.co.jp





http://www.fuk.hotelokura.co.jp/

